

全学的事業報告

周年事業

9月24日(日)、短期大学開学70周年、大学開学20周年、大学院開設10周年を祝し、「短期大学開学70周年、大学開学20周年、大学院開設10周年記念式典」を開催。学生・学校関係者を含め約400人の方が出席した。

記念式典に続き、記念講演会には姜尚中氏を講師に迎え、「向こう岸から 一地域から世界へ、世界から地域へ」と題し、一般市民を含むおよそ650人が聴講した。同夕刻、市内ホテルにおいて記念パーティーを開催し、周年記念事業を盛会に終えた。

詳細については、以下に記載した2023年9月発行松本大学学報蒼穹 Vol.152の内容を確認いただきたい。

〈松本大学学報蒼穹Vol.152より〉

▶記念式典の様子



9月24日、周年の節目を祝う記念式典を本学第一体育館で執り行いました。当日は、学生・学園関係者を含め約400名の方にご出席いただき、丸山律夫理事長の式辞では「長い歴史と伝統を基盤として、高等教育機関と中等教育機関を併せ持つ学校法人としての強みを活かし、皆様のご期待に沿えるように、一層の努力を続ける」と述べ、続いて菅谷昭学長は「式典を新たな起点とし、建学精神である「自主独立」の下、今後も地域貢献を基本とするミッションをぶれることなく守り抜く」と決意を力強く表明しました。

また周年を記念して、松本大学同窓会より教育拡充資金として500万円、松本大学後援会より施設拡充資金として500万円の目録を贈呈していただきました。記念式典および記念講演会に続いて、松本市ホテルブエナビスタにて記念パーティーを実施し、普段お話できない方々と交流を深めることができ、大変盛況のうちに終了しました。

▶記念講演会「向こう岸から 一地域から世界へ、世界から地域へ」 講師：姜尚中氏



記念式典に引き続き、政治学者で東京大学名誉教授の姜尚中氏を講師にお迎えし、「向こう岸から 一地域から世界へ、世界から地域へ」と題し、記念講演会を開催しました。姜氏は、鎮西学院学院長を務められていることから、大学についても触れられ、「大学は地域の大きな公共財で、地域社会に開かれていくことが重要である」と述べられました。一般参加者含め約650名が聴講し、そのうち学生からも100名以上の参加があり、貴重な機会とすることができました。